

蠟梅 Now

2015年国勢調査の確定値（15年10月1日時点）が公表された。総人口（含、外国人）は約1.27億人。5年前の前回調査から約96万人減り（日本人は107万人の減少）、1920年の調査開始以来、初めて減少に転じた。

65歳以上の高齢者は3347万人で総人口の26.6%に達し、4人に1人。75歳以上の後期高齢者は1612万人と8人に1人を占め、初めて14歳以下の子供（1588万人）を上回った。男女の比率は、48.7%：51.3%。女性優位に変わりはない。

人口減少の大きな要因は、出生数が死亡数を下回る自然減。75歳以上は30年間で3.4倍に増加、14歳以下は4割減少。少子高齢化に歯止めがかかっていない。

世帯数は一人暮らしの増加で5344万世帯と過去最高を更新。単独世帯は34.6%を占め、男性では25~29歳、女性では80~84歳が最も多い。男女65歳以上の6人に1人が一人暮らしで、高齢世帯の孤独死など社会問題の一因になっている。

少子高齢化に伴う人口減少は、経済成長の源泉：①労働人口、②資本蓄積、③技術進歩への影響が懸念され、個々の備えをできるところから固めていくことが、国の綻びを繕うことに繋がると思うが・・・、自ら守るしかないのであれば虚しい。

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」二世は、11年11月の実生による誕生からまもなく5年になる。区切りの時といえるが、時間の流れを変えるものは見当たらない。

鮮やかな緑が暑い日差しを受けて体力を消耗したかのように黄葉を始めた。そして、やがて落葉へ・・・。気象条件が光合成に適さない冬を迎える前に、葉に蓄えられた栄養は幹に回収、蓄積され、翌年の成長に供される。落葉は、無駄な水分やエネルギーが冬の間消費されるのを防ぐ自己防衛だという。

花の少ない時期に開花し、芳香を放つ蠟梅は、古来貴重な存在として珍重されてきた。年末から年始がその時期に当たるが、過去を振り返っても、越年の有無を左右するこれといった因子は見当たらない。蠟梅の親子揃っての開花にはまだ時間がかかりそうである。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>